

建設現場のオープン化アンケート結果のまとめ

| オープン化の目標 | 期待される効果 | アンケート結果（総括）※ | 今後の検討課題 |
|--------------------|-------------------------------|--|--|
| 監督業務の補助 | 工事施工状況の把握への活用 など監督業務の補助的効果 | <ul style="list-style-type: none"> 現場に行かなくても現場の工程や工事の段階が把握できる。 現場へ行くタイミングを映像を見た上で、的確に決定すること出来る。 | <ul style="list-style-type: none"> 監督の補助的手段として導入する条件（対象工事、モニターカメラの設置場所等）の整理が必要。 |
| 説明責任（アカウンタビリティ）の向上 | 事業に対する理解の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 事業説明の一つのツールとしての活用が可能。 見学者に対して、立ち入り困難な現場の状況等が現場に行かなくとも分かり効果的。 | <ul style="list-style-type: none"> 公開にあたり、工事関係者以外の一般の方がカメラに映ることへの配慮が必要。 |
| その他 | その他副次的な効果 | <ul style="list-style-type: none"> <i>見られているというある種の緊張感から、作業員が現場の整理整頓やルール遵守等について、一層気を付け作業を行った。</i> <i>作業員の品質や安全確保への意欲向上につながる。</i> | <ul style="list-style-type: none"> <i>見られているというある種の緊張感がもたらす効果については、持続的に効果が発揮されるかどうか、継続的に検証していく必要あり。</i> |

※ 斜体字は施工業者からの回答（斜体以外は監督職員からの回答）